資料3

木材需給動向について
（四国地区）

2022年5月

林野庁

全国の木材需給動向について、
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて
毎月資料を更新しています。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/ryutsu/kyougikai.html
（QRコードからもアクセスできます。）

さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計データや、林野庁の施策に関するトピックス、セミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月中旬に更新しています。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/monthlyreport.html

目次

1　価格の動向

（１）　原木価格（原木市場・共販所）

ア　スギ（全国）

イ　スギ（四国地区）

ウ　ヒノキ（全国）

（２）　製品価格

2　工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

（１）　製材（全国・四国地区）

（２）　合板（全国）

（３）　チップ（全国）

3　住宅着工戸数の動向

（１）　全国の住宅着工戸数

（２）　四国地区の住宅着工戸数

4　木材輸出額

1　価格の動向　（１）原木価格（原木市場・共販所）
ア　スギ（全国）　径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、 2021年に入ってからは４月以降、価格が上昇。その後も高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比89%から132%となっている。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	12,600	10,700	118%
秋田県	18,990	14,830	128%
栃木県	16,380	16,150	101%
長野県	15,000	12,000	125%
岡山県	16,000	14,000	114%
高知県	18,000	14,500	124%
熊本県	17,800	13,500	132%
宮崎県	16,000	18,000	89%

※熊本県については２月、秋田県については３月、北海道については４月、栃木県、長野県、岡山県、高知県、及び宮崎県については５月の値を使用。

注１：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注２：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

イ　スギ（四国地区）　径24cm程度、3.65～4.0m（2018年12月～）

- 例年であれば春から梅雨時期にかけて原木価格が下落する時期にもかかわらず、 2021年に入ってからは５月以降上昇し、一部で現在は高止まり。
- 直近のスギ原木価格は、対前年比120%から124%となっている。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
徳島県	18, 350	14, 750	124%
愛媛県	15, 700	13, 100	120%
高知県	18, 000	14, 500	124%

※愛媛県については４月、徳島県及び高知県については５月の値を使用。

注　：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

イ　ヒノキ（全国）　径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、**例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってからは４月以降、価格が大きく上昇。その後も、高い水準で推移。**
- 直近のヒノキ原木価格は、**前年同期比98%から147%**となっている。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	24,250	16,500	147%
岡山県	23,500	24,000	98%
広島県	23,000	18,600	124%
愛媛県	27,000	18,700	144%
高知県	28,000	19,500	144%
熊本県	24,600	18,600	132%
大分県	24,000	23,900	100%

※熊本県については２月、兵庫県については３月、愛媛県及び大分県については４月、岡山県、広島県及び高知県については５月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

（2）製品価格

- **輸入材製品価格は、北米、中国、欧州など世界的な木材不足に加え、コンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。**
- **代替需要により国産材製品価格も上昇し、直近では合板は上昇傾向、製材は高止まりかピーク時より下落し横ばい傾向。**

①柱

②間柱

③平角

④構造用合板

資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2　工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向
（１）製材（全国）

- 2022年１～３月の原木の入荷量は4,185千㎥（2019年比95%）。
- 同様に製材品の出荷量は2,081千㎥（2019年比94%）。

資料：農林水産省「製材統計」

製材品出荷量の月別推移（全国）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～3月原木入荷量合計（千m3）	4,177	4,172	4,389	4,141	3,840	4,185
2019年との比較※	95%	95%	—	94%	88%	95%
1～3月出荷量合計（千m3）	2,188	2,159	2,221	2,061	2,038	2,081
2019年との比較※	99%	97%	—	93%	92%	94%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

（１）製材（四国地区）

- 2022年１～３月の原木の入荷量は345千㎥（2019年比92%）。
- 同様に製材品の出荷量は180千㎥（2019年比94%）。

資料：農林水産省「製材統計」

製材品出荷量の月別推移（四国地区）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～3月原木入荷量合計（千m3）	338	333	373	352	338	345
2019年との比較※	91%	89%	—	94%	91%	92%
1～3月出荷量合計（千m3）	178	187	191	178	184	180
2019年との比較※	93%	98%	—	93%	96%	94%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

（２）合板（全国）

- 2022年１～３月の原木の入荷量は1,483千㎥（2019年比116%）。原木在庫量は回復してきている。
- 同様に合板の出荷量は794千㎥(2019年比97%）。合板在庫量は2020年５月から減少傾向であったが、現在は低い水準で推移。

資料：農林水産省「合板統計」

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～3月原木入荷量合計(千m3)	1,099	1,223	1,275	1,335	1,241	1,483
2019年との比較※	86%	96%	—	105%	97%	116%
1～3月出荷量合計(千m3)	761	778	818	758	784	794
2019年との比較※	93%	95%	—	93%	96%	97%

※コロナ禍前の2019年の数値を100%とした比較

（３）チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、**輸入広葉樹チップの消費量は2020年４月から６月まで激減**した。その後は回復傾向。**国産針葉樹チップの消費量は、2020年５月に大きく減少**したが、その後回復した。
- **木質バイオマス発電向け燃料**は、一貫して**増加傾向**が続いている。
- **紙の生産高は2020年６月に減少**したが、その後一定程度回復している。

資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報
紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

出典：木材利用課調べ（～平成26年）、林野庁「木材需給表」（平成27年～）

資料：経済産業省
「経済産業省生産動態統計年報　紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

3　住宅着工戸数の動向　（１）全国の住宅着工戸数（2018年１月～2022年３月）

- **2021年の新設住宅着工戸数**は、**85.6万戸**（前年比105.0%）、このうち**木造住宅は50.2万戸**（同107.0%）となり、2020年からは増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の水準は下回った。
- **2022年１～３月の新設住宅着工戸数**は、**20.0万戸**（前年同期比104.9%）、このうち**木造住宅は10.8万戸**（同100.5%）。

新設住宅着工戸数の推移

構造別の着工戸数	2022年 1～3月	前年同期	前年同期比	前々年同期	前々年同期比
合計	200,424	190,999	104.9%	194,175	103.2%
非木造	92,078	83,143	110.7%	84,363	109.1%
木造	108,346	107,856	100.5%	109,812	98.7%
木造プレハブ	2,043	2,169	94.2%	2,425	84.2%
２×４	19,969	19,537	102.2%	22,966	87.0%
在来軸組	86,334	86,150	100.2%	84,421	102.3%
木造率	54.1%	56.5%		56.6%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

資料：国土交通省「住宅着工統計」

（２）四国地区の住宅着工戸数（2018年１月～2022年３月）

- 2021年の新設住宅着工戸数は、2.0万戸（前年比99.2%）、このうち木造住宅は1.4万戸（同104.9%）。
- 2022年１～３月の新設住宅着工戸数は、3.8千戸（前年同期比91.5%）、このうち木造住宅は2.9千戸（同93.2%）。

新設住宅着工戸数の推移

構造別の着工戸数	2022年 1～3月	前年同期	前年同期比	前々年同期	前々年同期比
合計	3,766	4,118	91.5%	4,606	81.8%
非木造	854	994	85.9%	1,486	57.5%
木造	2,912	3,124	93.2%	3,120	93.3%
木造プレハブ	52	54	96.3%	89	58.4%
２×４	547	660	82.9%	768	71.2%
在来軸組	2,313	2,410	96.0%	2,263	102.2%
□木造率	77.3%	75.9%		67.7%	

（参考）利用関係別の着工戸数（ただし、「給与住宅」を除く。）

資料：国土交通省「住宅着工統計」

4　木材輸出量

- **令和４年３月の輸出量は丸太128千㎥**（前年同月比89%）、**製材19千㎥**（前年同月比90%）、**合板13千㎥**（前年同月比104%）となった。　**１～３月までの累計は丸太318千㎥**（前年同月比91%）、**製材55千㎥**（前年同月比115%）、**合板33千㎥**（前年同月比101%）となった。

○丸太輸出量の推移（月別）

資料：財務省易統計
※貿易統計の第4403, 4407, 4412の一部類を集計
※四捨五入により、数値が合わないことがある

○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月 3月 主要品目内訳（千m3）前年比（%）			累計 1～ 3月 主要品目内訳（千m3）前年比（%）		
	丸太	製材	合板	丸太	製材	合板
中国	106 88%	6 85%	1 76%	262 91%	17 122%	2 97%
韓国	11 86%	1 64%	0 49%	29 88%	2 75%	0 67%
台湾	10 123%	2 78%	0 0%	26 122%	4 101%	0 0%
米国	0 —	4 56%	0 107%	0 —	13 79%	0 107%
フィリピン	0 —	6 187%	12 107%	0 —	17 195%	31 101%
総計	128 89%	19 90%	13 104%	318 91%	55 115%	33 101%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千㎥) 1～ 3月	比率 1～ 3月
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	28.0	8.8%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	1.3	0.4%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	3.4	1.1%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	2.5	0.8%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	3.1	1.0%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	5.7	1.8%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	94.0	29.5%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	180.1	56.6%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない